

平成 23 年 3 月 31 日

各 位

会 社 名 UTホールディングス株式会社
 代 表 者 代表取締役社長 若山 陽一
 コード番号 2146
 問 合 せ 先 取締役管理部門長 島田 恭介
 電 話 番 号 03(5447)1710

平成 23 年 3 月期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社が平成 22 年 5 月 14 日に公表いたしました平成 23 年 3 月期（平成 22 年 4 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日）の連結業績予想につきまして、下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 平成23年3月期 通期連結業績予想数値の修正 （平成22年4月1日～平成23年3月31日）

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前 回 発 表 予 想 (A)	18,350	1,670	1,610	1,380	6,492.74
今 回 修 正 予 想 (B)	20,100	1,430	1,290	750	3,528.66
増 減 額 (B - A)	1,750	△240	△320	△630	-
増 減 率 (%)	9.5	△14.3	△19.8	△45.6	-
[ご参考]前期通期実績 (平成22年3月期)	18,056	290	182	△1,401	△6,593.58

2. 業績予想の修正理由

売上高については、既存顧客のシェアアップ、営業活動の推進による新規顧客の獲得により、当社技術社員数が計画を上回ったことで、連結業績予想数値における前回発表予想の 18,350 百万円を 1,750 百万円上回る 20,100 百万円となる見込みです。

営業利益については、次のとおりです。今期の下期以降、成長 4 分野（太陽電池・2 次電池・LED・ディスプレイ）を中心とした市場の拡大が見込めると判断し、新規営業にかかる社員の増強を行いました。これにより、第 3 四半期以降において新規顧客工場の受注が大幅に伸びたものの、立ち上げ途上の顧客工場が多数あるため、一時的なコストが発生しております。この新規顧客工場の獲得と立ち上げコストについては、売上高及び売上総利益の増加によって吸収できる見通しでありましたが、平成 23 年 3 月 11 日に発生した東北関東大震災の影響により、東日本エリアを中心とした取引先工場の生産が一時的にストップしたことや、輸送網が深刻なダメージを受けたことにより部材の調達ができず、東日本のみならず、全国の生産に影響が及んだことにより、3 月に見込まれていた収益が来期以降にずれ込む見通しとなりました。これにより、連結業績予想数値における前回発表予想の 1,670 百万円を 240 百万円下回る 1,430 百万円となる見込みです。

経常利益については、上記の理由により営業利益が減少したことや、当社関係会社であるウィンズの持分法投資損失等の営業外費用が発生したことで、連結業績予想数値における前回発表予想の1,610百万円を320百万円下回る1,290百万円となる見込みです。

当期純利益については、上記理由により経常利益が減少したことに加え、東北関東大震災により、当該地域における従業員の休業手当の発生や現地の顧客及び従業員を支援するための物資調達や輸送費用などが一時的に発生したためこれを特別損失として計上したこと、及び当初見込んでいなかった繰延税金資産の取り崩しによる法人税等調整額が発生したことにより、連結業績予想数値における前回発表予想の1,380百万円を630百万円下回る750百万円となる見込みです。

3. 配当予想について

配当予想につきましては、1株あたりの配当金2,400円から変更はございません。

※本資料における業績予想につきましては、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上